

- 上野図書館 ☎ 21-6868
- いがまち公民館図書室 ☎ 45-9122
- 島ヶ原公民館図書室（島ヶ原会館内）☎ 59-2291
- 阿山公民館図書室（あやま文化センター内）☎ 43-0154
- 大山田公民館図書室 ☎ 47-1175
- 青山公民館図書室 ☎ 52-1110

図書館だより

Library Information

★新着図書紹介（上野図書館）

■一般書

『3・11 以前』

「3・11 以前」写真集
プロジェクト事務局／編
東日本大震災で大きな被害を受けた東北地方。被災前の東北を撮影した写真を公募し、集まった2000枚を超える中から、東北地方の美しい風景を再現した写真集です。

■一般書

『この絵、どこがすごい？』

佐藤 晃子／著
数ある美術作品の中でも、「名画」と呼ばれる特別な絵があります。この本では、絵画鑑賞をより楽しいものにするため、名画に隠された秘密や鑑賞のルールを解説しています。



■児童書

『うみのおまつり どどんとせ』

さとう わきこ／さく・え
海岸で寝ている大くじらを起こすため、大太鼓にラッパやシンバルを用意した、ばばあちゃん。にぎやかに海のお祭りを始めましたが、くじらは全然目覚めません。最後にばばあちゃんがとりだしたものは…。

■児童書

『忍者の大研究』

黒井 宏光／監修
伊賀は忍者の里と言われていますが、あなたは忍者のことをどのくらい知っていますか？

忍者の仕事や歴史、忍者が使う道具や技、忍者の普段の生活や修行について、詳しく学べる本です。

6月の読み聞かせ

開催日	会場	時間	催物	*は読み手
6日(水)	ふるさと会館いが小ホール	10:00～1時間程度	絵本の時間	
9日(土)	上野図書館 2階視聴覚室	14:00～30分程度	おはなしの会	
13日(水)	島ヶ原公民館図書室	10:00～1時間程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「ネェよんで」
16日(土)	いがまち公民館会議室（和室）	10:00～50分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「ぶらんこ」
17日(日)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30～30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
19日(火)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30～30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
20日(水)	上野図書館 2階視聴覚室	15:00～30分程度	えほんの森	*おはなしボランティア「よもよも」
22日(金)	島ヶ原公民館図書室	10:00～30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「ネェよんで」
23日(土)	大山田公民館図書室えほんのへや	10:30～30分程度	おはなしたいむ	*おはなしボランティア「きらきら」
23日(土)	上野図書館 2階視聴覚室	14:00～30分程度	おはなしの会	
7月4日(水)	ふるさと会館いが小ホール	10:00～1時間程度	絵本の時間	

★絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします

下郡遺跡出土の木簡

市史編さんだより (25)

木簡とは、墨で文字が記された細長く薄い板状の木片で、奈良県にある平城宮跡などからよく出土しています。

昭和53年、下郡遺跡の発掘調査で伊賀地域初となる木簡が出土しました。木簡のように木質で薄いものが残ることはほとんどありませんが、この木簡の場合、湿気の多い井戸跡にあったために現在まで残ったと考えられます。

下郡遺跡から出土した木簡は、縦26.2cm、幅2.7cm、厚さ3mmのもので、片面には「沓縫阿備」、もう片面には「出可租稻七束四把四分 延曆」と書かれていることが肉眼でも読み取れます。

本来の用途を終えた後、さじのようなものに転用されたようで、下半部が削り取られて不鮮明になっています。この木簡の肉眼では読み取れない部分を赤外線カメラ



▲下郡遺跡から出土した木簡

ラで調査をしたところ、新たにいくつかの文字を判読でき、次の内容が書かれていることがわかりました。

沓縫阿備麻呂口田 一 八十四
出可租稻七束四把四分
延曆 四月

「沓縫阿備麻呂」とは、当時この地域に居住した人の名前です。彼の戸（家）に属する沓縫某に関する記録であることがわかりました。また「八十四」は少し小さく書かれているので、補足的な内容の文で沓縫某の年齢を意味しているのかもしれない。

「租稻七束四把四分」は、束・把・分が当時の納税の単位であることから納税に関する記録であること、「出可」（出だすべき）という文字からは、沓縫某から郡司を経由して国司へと税を納めたであろうと想定されます。したがって、下郡遺跡出土木簡は、沓縫某の納税に関する帳簿的なものであると考えられます。

この木簡が出土したこと、隣接する上郡も含めて「郡」という地名から、下郡遺跡周辺は、古代伊賀郡の中心地であり伊賀郡衙（役所）が所在した可能性が指摘されています。

総務課市史編さん係
☎ 52・4380 FAX 52・4381